

あいちの印刷

7

2022.7
No.608



東山魁夷 心の旅路館(道の駅「賤母(しずも)」・岐阜県)

もくじ

- 巻頭言「パーパス経営」 3
- 全印工連 中部地区協上期会議(富山県会議)
令和4年度基本方針 4
- 愛知県印刷工業組合
令和4年度基本方針 6
- 愛印協組・通常総会
細井体制3期目がスタート 8
- 愛知県印刷工業組合
令和4・5年度執行部および委員会編制図 9
- 日印産連:「2050年カーボンニュートラル宣言」
2050年カーボンニュートラルの実現に向けて 10
- デジタル技術の活用促進をアドバイス
愛知県デジタル技術活用相談窓口 11
- 日本印刷産業連合会 独禁法ガイドブック制作
「これだけは知っておきたい」 独占禁止法のポイント ... 12
- 全印工連
「環境推進工場登録」の案内 13
- 第13回ポスターグランプリ作品募集 14
- 今月の本箱 14
- 編集だより 14

人に 社会に 想いを カタチに

O//O 愛知県印刷工業組合

FUJIFILM
Value from Innovation

成長は、「省資源」から。

もっと強く、もっと付加価値の高い印刷ビジネスを実現するために
富士フィルムは提案します—— 成長は、「省資源」から。

材料・工数・水・エネルギー・排出、

これまでの「コスト」を減らし利益に還元。

製版・印刷工程を軸にした、

独自のソリューション「FUJIFILM SUPERIA」が

あなたの会社をどこよりも強いものへ変えていきます。

**FFGSは、戦略的『省資源』で、
トータルコストダウンを支援いたします。**

FUJIFILM

「減らす」がつくる、クオリティ

SUPERIA

富士フィルム グローバルグラフィックシステムズ株式会社 中部支社 〒460-8404 名古屋市中区栄一丁目12番17号 富士フィルム名古屋ビル 052(201)8171 ホームページ <http://ffgs.fujifilm.co.jp>

RMGT970が
あなたの**SDGs**を
アシスト
Assist



人に優しい



地球に優しい



経営に優しい



RMGT 970 モデルは、オペレーターフレンドリーなユーザーインターフェースや作業負担を軽減する自動化 / 省力化機能をはじめ、損紙の削減や電力消費量低減によって省資源 / 省エネルギーに配慮した、人に地球に優しい印刷機です。さらに菊全判ジャストサイズによるコストメリットはもちろん、生産性や印刷物の付加価値を高める各種オプション機能も充実した、経営にも優しい印刷機です。

RMGT 970 モデルは、SDGs に取り組み、サステナブルな成長を目指すあなたの会社を強力にアシストします。

RMGT リョービMHIグラフィックテクノロジー株式会社

<https://www.ryobi-group.co.jp/graphic/>

SCシリーズ断裁機 登場。

効率と安全性が更に進化。ナイフとバックゲージの速度が向上し、クランプ上昇安全機能を搭載。AIとの連携(オプション)も可能です。※eRCシリーズ断裁機との比較。写真はオプション仕様。

SC
100Z 115Z
137Z
SERIES SCシリーズ断裁機



最大断裁幅 1030mm
SC-100Z



最大断裁幅 1370mm
SC-137Z



最大断裁幅 1168mm
SC-115Z

Safety *Smart*
Speedy

ITOTEC



CIP4に対応
(オプション)

ITOTEC
イトテック株式会社

製品や機能の詳細など、お気軽にお問い合わせください。

<https://www.itotec.co.jp>

e-mail info@itotec.co.jp

本社 〒484-0912 愛知県犬山市舟田10-4 TEL 0568-67-5311 FAX 0568-68-0495

[支店、営業所、サービスセンター] 東京・大阪・四国・福岡・札幌・新潟・仙台

巻頭言

「パーパス経営」

副理事長 荒川 壮一

ビジネスの世界においては、その時々のトレンドを象徴するワード、価値観がよく話題に上がりますが、昨年辺りからにわかに注目されているのが「パーパス経営」です。

パーパス (Purpose) とはそのまま訳せば「目的」となるのですが、ビジネスの文脈では組織の存在意義のことを指します。「この組織は何のために存在しているのか?」という「Why?」の部分にパーパスに当たります。「どうやるか (How)」や「何をやるか (What)」ではありません。VUCA (Volatility・Uncertainty・Complexity・Ambiguity) という言葉が登場し、社会やビジネスにおいて未来の予測が難しい時代が到来しました。加えて新型コロナウイルスが世界的に蔓延し、この状況をどのように打破していけばよいのか、誰も答えを持ち合わせていません。こうした社会変化に加えて、企業は人材流動性の高まりや、新たな価値観を有するミレニウム世代・Z世代が入社してくることにより、あらたなマネジメントが必要となったことが、パーパス経営を生んだ背景のようです。

とはいえ、みなさんの中にも、社是や企業理念が存在する会社が多くあると思います。ではそれ

らとパーパスとは何が違うのかといえば、大筋では同じです。ただ、パーパスで必ず盛り込むべき要素は「その組織の価値観 (独自性)」と「社会的な意義」だそうです。自社が大切にする軸となる考え方で、社会にどのような利益を及ぼすことができるかという視点です。この辺りがやはりSDGs時代のトレンドだな、とも思われますが、私自身も自社の企業理念をあらためて思うと、その視点が欠落していることに気づきました。ひと昔前に、若手社員は「ギラギラ」した企業より、「キラキラ」したそれを選ぶと聞いたことがありますが、いまはそれがさらに進化して、やりがいの大きなシェアの部分に社会貢献 (社会的な意義) があり、それを日々の業務レベルで感じたいというニーズ。パーパス経営の必要性はまさにここにあるのではないのでしょうか。

ちなみにこのパーパス、日本を代表する有名企業 (日産・ぐるなび・ピジョン・ベネッセ) 等も新たに策定をしたそうです。このトレンドの消費期限は分かりませんが、みなさんも一度自社のパーパスについて思いを巡らしてみるのはいかがでしょうか。

 **KONICA MINOLTA**

Giving Shape to Ideas

お客様の可能性を引き出す印刷現場での働き方改革をご提案します。



専任者不要

「スマートに働く」
スキルレスオペレーション

作業の効率化

「無駄のない」
シンプルな印刷プロセス

受注体制の拡充

「アイデアの具現化」
高品質を生むテクノロジー



AccurioPress
C4080/C4070

※写真はC4080にオプションを装着したものです。

コニカミノーラ ジャパン株式会社
プロフェッショナルプリント事業部 西日本営業統括部 営業4部

〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄2-9-15
三井住友海上しらかわビル11F TEL.052-229-4624

共に印刷の未来を創る
つながるプリントラボ
<https://www.konicaminolta.jp/pr/printlab>



令和4年度基本方針 事業計画発表

愛知・岐阜・三重・富山・石川5県から
理事長、役員ら49名が出席

令和4年度中部地区印刷協議会(大洞正和会長・岐阜県印刷工業組合理事長、中部地区協)の上期会議(富山県会議)が、6月17日富山市のホテルグランテラス富山で開催された。当日は全日本印刷工業組合連合会(全印工連)より浦久保康裕副会長、鳥原久資副会長、池尻淳一専務理事、富澤隆久常務理事と愛知・岐阜・三重・富山・石川の各県工組理事

■9月30日全印工連フォーラム開催

全体会議前半の冒頭、開催県を代表して須垣貴雄副会長(富山県印刷工業組合理事長)が挨拶に立ち、ウイズコロナの中でのリアル開催への参加に歓迎の意を表した後、「コロナ禍の2年間は、印刷業界にとって危機の2年間であり、多くの印刷会社も次世代への戦略を練るために苦労していると思う。弊社でも次の市場に向けての戦略を練っているし、組織の改編もしているが、印刷会社の経営者の皆さんはまさに次の戦略をどうするかということで悩んでいる状況である。経営者の皆さんの選択肢を増やすのは我々印刷組合の務めだと思っているので、今日の会議が事業を増やすのに役立てば幸いである」と述べた。

続いて、中部地区協大洞会長が次のように述べた。「ずっとリモートでの会議であったので、久しぶりに中部地区協が富山県で開催され非常にうれしく思う。まだ完全にコロナが収束した訳ではないので、感染対策はしっかり講じながら交流会までの長丁場であるがよろしく願います。印刷業界では、非常に暗いニュースが多い。紙からインキから、何から何



中部地区上期会議全体会議のもよう

長、役員49名が出席した。全体会議前半では、全印工連の令和4年度事業計画を発表。分科会では、5つの分科会と理事会が開催され、全体会議後半は、理事会、分科会報告が行なわれた。司会進行は、河原善高事務局長(愛知県印刷工業組合専務理事)が努めた。

まで全て値上がりと非常に苦しい状況だが、下を向いていても何も始まらない。前を向いて、今何をすべきか、何をしたいか、何をすべきか、何ができるか、会社でも若い方々、スタッフの皆さんと考えて前進をしていただきたいと思います。

さらに、全印工連浦久保副会長が次のように挨拶。

「先日、私共の近畿地区印刷協議会が奈良の地で開催した。大変盛り上がり、皆さんこういう機会を待ち望んでいたと感じることができた。本日も活発な議論、そしていろいろな交流が生まれることを望んでいる。

昨年末より各資材が高騰するなか、全印工連では、生産性を如何に上げていくのか、そして各社の特長を如何に活かしていくのかということということで印刷業界のDX『DX-PLAT』に注力して、開発をしてきた。いま全国でトライアル事業を行なっている。全印工連が進めるDXが見えてこないという指摘もあり、セミナーや依頼があれば福田浩志DX推進PT委員長が説明に出向いている。また9月30日に愛知で開催される全印工連フォーラムでは、しっかりとDXについて説明をする機会を設けたい。皆さんの特長を活かした連携が全国で展開されればと思っている。また、この2年間、リアルにセミナーを開催する機会が無かったこともあり、印カレを中心にコンテンツの充実をはかってきた。更なる充実に向けて全印工連を上げて取り組んでいきたい。

こうした時期こそ印刷工業組合の存在意義を確認しながら、連携をしていきたい。時代が変わるのをリアルに感じる今である。時代が変わる前には混沌とした状況が生まれる。従来の価値観や経験だけではなく、新しい英知をつぎ込みながら、印刷工業組合、そして、会員企業の取り組みを印刷工業組合の連携の中から生み出していただければと思っている」。

総会事業では、大洞会長を議長に中部地区協の令和3年度収支決算、令和4年度予算案が上程され原案通り承認された。

その後、池尻専務理事から全印工連の事業概要の説明が行



挨拶をする大洞会長



全印工連の浦久保副会長

全印工連 令和4年度基本方針

印刷産業の構造改善 高付加価値コミュニケーション サービス産業への転換

【基本方針】

長引くコロナ禍が収束の気配を見せない中、令和4年度を迎えました。経済全体の停滞に加え、世界情勢の変化からくる原材料価格や印刷諸資材価格高騰の波も押し寄せ、中小印刷産業の先行きは一段と不透明さを増しています。

一方で、サプライチェーンやステークホルダーからは、SDGsなどをはじめとして、企業の社会的責任を果たすための多くの課題解決が求められ、それらへの的確な対応を図ることが必要となっています。

このような歴史に残る大転換期にあつて、私たち中小印刷産業は、足下をしっかりと固めながら、未来の大きな目標に向かって果敢なチャレンジに挑むべき時を迎えています。今、私たちに必要なのは、まさにこの新時代にふさわしい産業の姿へと変革するための「令和の構造改善」です。

本年度、全印工連では、高付加価値コミュニケーションサービス産業への転換を目指して「DX導入による生産性向上」、「事業領域拡大による新たな価値創出」、「サステナブルな事業経営」を基本的な考えとして、社会から求められる魅力あふれる産業へ向けて、各種事業の推進に積極的に取り組んでまいります。

昨年度までトライアルを重ねたDX事業を本年度は軌道に乗せ、各社の得意分野を活かした生産連携・生産集約、協調領

域の最大化とコスト削減による収益改善に向けた歩みを加速させます。その上でワンストップサービス、高付加価値のサービス・製品づくり、ソリューションサービス産業への進化による価値創出＝「印刷＋α」への取り組みを支援します。また、中小印刷産業として2050年カーボンニュートラルに対応するために、プロジェクトチームを立ち上げ「全印工連カーボンニュートラル指針」を策定します。

このほかにも、長期的産業戦略の研究と立案、各県工組活性化のための課題整理と方策検討、広報戦略の推進、サステナブルな企業経営実現を目指した各種施策、人材育成とリスクリリングへの取り組み、CSRによるステークホルダーとの関係構築強化など、構造改善を支える諸事業を展開します。

全印工連が47都道府県印刷工業組合の連合体であることの意味とその存在価値を踏まえ、商工組合連合会の大きな、そして力強いポテンシャルを最大限に生かす事業に取り組むことにより、新時代にふさわしい新たな可能性が拡がります。私たち中小印刷産業が、社会から求められる魅力あふれる産業であり続けるため、本年度も会員47都道府県印刷工業組合との連携、協力体制の一層の強化を図りながら、産業の構造改善、そして組合員企業の力強い経営と持続的な成長、発展をめざして諸事業に取り組んでまいります。

なわれた後、経営革新マーケティング分科会、環境労務分科会、組織共済分科会、教育研修分科会、取引公正化分科会の5つの分科会と理事長会が行なわれた。

全体会議後半では、最初に分科会、理事長会の報告が行なわれた（報告者は次の通り）。

経営革新マーケティング分科会／筧田公生委員長（富山県・副理事長）

環境労務分科会／小川優二委員長（岐阜県・副理事長）

組織共済分科会／北川毅委員長（愛知県・理事）

教育研修分科会／田中逸郎委員長（石川県・副理事長）

取引公正化分科会／伊藤誠司委員長（三重県・専務理事）

理事長会／水谷勝也理事長（三重県）

分科会報告に続いて、全印工連CSR推進委員会の荒川壮一委員（愛知県・副理事長）からCSR報告が行なわれた後、質疑応答、意見交換に移り、浦久保副会長、池尻専務理事、富澤常務理事より説明が行なわれた。その後、閉会の辞を酒井良輔副会長（愛知県・副理事長）が行ない中部地区協上期会議・富山県会議が終了した。

（全印工連事業計画および中部地区協の分科会報告は次号にて詳報予定）

中部地区印刷協議会 令和4・5年度役員（敬称略）

●会長：大洞正和（岐阜県・理事長）

●副会長：酒井良輔（愛知県・副理事長）

●副会長：水谷勝也（三重県・理事長）

●副会長：須垣貴雄（富山県・理事長）

●副会長：小杉善文（石川県・理事長）

●経営革新・マーケティング委員長：筧田公生（富山県・副理事長）●環境・労務委員長：小川優二（岐阜県・副理事長）●組織・共済委員長：北川毅（愛知県・理事）●教育・研修委員長：田中逸郎（石川県・副理事長）●取引公正化委員長：伊藤誠司（三重県・専務理事）●経営革新・マーケティング副委員長：稲井田勝（富山県・理事）●環境・労務副委員長：西脇正道（岐阜県・理事）●組織・共済副委員長：杉谷芳紀（愛知県・理事）●教育・研修副委員長：橋本雅生（石川県・常務理事）●取引公正化副委員長：黒川肇（三重県・理事）●事務局長：河原善高（愛知県・専務理事）●監事：河野俊一郎（岐阜県・専務理事）●監事：加藤義章（愛知県・理事）

※委員長・副委員長・事務局長は幹事

令和4年度「事業計画」

愛印工組の令和4年度通常総会が5月20日名古屋観光ホテルにおいて行なわれ、任期満了に伴う役員選任で鳥原久資理事長が再任され、また、副理事長、各委員会の委員長らが決まった(前号に既報)。ここでは、令和4年度の「事業計画(基本方針・事業)」についてお知らせする。



(写真は、令和4年度通常総会のもよう)

印刷DX-PLATの情報提供

次世代を担う若い人たちへの発信と印刷の面白さを伝える場づくり

【基本方針】

コロナ禍という言葉聞くようになり3年目となりました。収束はいまだ見通せないがワクチン接種も進み、ウイズコロナへの対応が求められる1年です。とはいえコロナ前に経済は戻ることはありません。加えて数々の資材の値上げにより、如何に経営を維持し成長を描くか正念場となる1年です。組合は集う組合員のものでなくてはなりません。そのために実のある事業が必須です。今年も充実した企画で会社の明るい未来を創り出す後押しに邁進します。

全印工連が力を入れているデジタルトランスフォーメーション(DX)がよいよトライアルに入ります。印刷業界の出荷額や将来の人口構成、そしてコロナ後に予想される業況を見る限り舵を切るのは必然であり、先を見据えた形がこの事業です。トライアルの状況は逐一報告し、印刷業界が作り出すトランスフォーメーションの発信に努め、多くの方に参加いただけるように努めてまいります。また、本年度も動画配信の充実を図り、企業の未来創りに生かし業態変革を推し進める一助になればと思います。

愛知県印刷工業組合では、昨年一昨年と実施ができなかった検定やリアルな研修を今年は実施し、組合員企業の力量をアップする後押しに邁進します。また、定着したりリモートでの研修も継続することで学びの機会を数多く提供します。

新たな試みとして、次世代を担う若い人たちの発信と、印刷の面白さを伝える場づくりができる企画に動きます。2年間という長い時間をかけて広く業界をブランディング。その経過も発信し、ブランディングのヒントの一助になればと考えています。

また、共済事業も再度力を入れていきます。小さな掛け金で大きなメリットが得られる共済制度は、多くの組合員が集まるからこそ得られるメリットです。しかし、新たに加わった介護補償などメリットがなかなか伝わっていません。多くの方に活用いただけるよう積極的に働きかけていきます。

形は変われども情報発信に関わってきた我々印刷業界に

は、多くの引き出しとノウハウが満載です。「ターニングポイントとなる一年」と昨年表現したが、いよいよ新たな行動に移る時。未来を創るために組合事業に積極的に関わっていただきますようお願い申し上げます。

【事業】

●三役直轄事業(担当:酒井良輔副理事長)

三役直轄事業として、下記の各事業についてより一層の充実を図っていく。

①第13回ポスターグランプリ=本年度のテーマは「カタチ」。中部地区印刷協議会全体で愛知県印刷協同組合と共に協力しながら開催する。将来のグラフィックデザイン業界を担う人材育成の一環として、社会的意義をより深めることができるように本年度も活動していく。

②名古屋而立会への支援・協力=組合青年部の活動は今年も例年通り名古屋而立会に委託するとともに、情報交換を密にしながら支援を図っていく。こうした交流を通して、将来の印刷業界を担う若手印刷人の育成をしていく。

③関連団体・関連業者との情報交流およびゴルフコンペ。

④各事業委員会に属さない案件などへの対応。

●教育委員会事業(担当:酒井良輔副理事長・加藤義章委員長)

印刷業界、組合員企業にとって貴重な財産である社員の育成、教育、技能向上のための資格試験、セミナーの開催、及び、全組合員にとって大きなメリットが得られる情報配信、周知に尽力する。

①印刷技能検定「オフセット印刷作業」実技試験・採点の実施及び学科試験対策セミナーの開催、②プリプレス技能検定「DTP作業」実技試験・採点の実施及び学科試験対策セミナーの開催、③「印刷営業講座」及び「印刷営業技能審査認定試験」の開催・実施。④印刷技術、従業員教育に関する情報の発信。



加藤義章教育委員長



山本芳弘労務・新人教育委員長



北川毅組織・共済委員長



竹倉幹雄CSR・ブランディング委員長



渡辺達也経営革新委員長

●労務・新人教育委員会事業(担当:木村吉伸副理事長・山本芳弘委員長)

例年通り4月4日より新入社員研修を行なう。印刷についての基礎講座に加え、好評の「インターネット広告」「動画制作」など、印刷業界が取り組む新しい分野の講座とシール印刷・スクリーン印刷・特殊加工の講座を設けた。これは新入社員の皆さまに幅広く印刷業界を知り、関心を持っていただく目的からである。また「断裁機使用にあたっての特別教育」は継続して支援を行なう。

①印刷会社の新入社員研修会、②「断裁機使用にあたっての特別教育(学科・実技)」の実施。学科講習(6月25日/会場:光文堂)、実技講習(7月、8月/参加人数により調整)、③「働き方改革」の法改正に関する情報発信、④「永年勤続優良従業員表彰」の実施、⑤「鉛・有機溶剤取扱者健康診断」の実施の周知(前期・後期)、⑥各種助成金制度、従業員の福利厚生に関する情報発信、労働関係法規に関する情報発信。

●組織・共済委員会事業(担当:田中賢二副理事長・北川毅委員長)

組織・共済委員会では、組織事業として各支部との強固な連携により、「経営の安定」に役立つ情報の収集、提供を行ない、他団体を含め横・縦の両面から組合員企業との繋がりを持ち、積極参加、交流を計るべく各支部・委員会事業の推進を支援する。また、共済事業として各種共済制度の加入促進を行ない、組合員企業・組合事業の下支えをしていく。

(A)組織事業(広報・関連情報の収集・提供による組合員加入促進)

組織事業では、組合員が減少する中、それぞれの組合員企

業が自社の強みを発揮し、組合員企業の「1社当たりの売り上げ拡大、適正な収益確保、従業員一人当たりの出荷額の指標向上などに貢献できるよう、企業経営に必要な情報収集を行なう。また、BCP対策やアドビの全印工連特別ライセンスプログラム事業などを提供していく。

①全印工連、その他関係機関や諸団体からの関係情報の収集と提供、②支部事業の積極的支援と広域化する各支部との連携、③「あいちの印刷」の継続発行、④組合ホームページの更新見直し、⑤BCP対策:クラウドバックアップサービス事業の促進、安否確認システム「Safetylink24」ASP・SaaSサービスの促進、⑦各委員会の事業推進に関する組合員へのより積極的な広報活動の推進、⑧愛知県印刷産業団体連絡会及び関係諸団体との緊密な連携のもと新年互礼会などの実施。

(B)官公需対策事業

官公需対策事業では、入札参加資格申請において「印刷機械設備等の保有」、「自社の印刷機を使用」、「県内で印刷の全行程を行なう」などの「定時見積制度」の実施状況の確認を継続して行なう。また、官公需取引における著作権の適切な取り扱いについても、業界および組合員企業の権利が保護されるよう取り組んでいく。

(C)共済事業(経営の安心・安定の提供)

組合員企業に少しでも役に立てる各種共済制度(「医療・がん・介護共済」「生命共済」「せつび共済」「災害補償共済」)を提供し、今期は中部地区印刷協議会にて重点工組の指定を受けており、全印工連のキャンペーン期間に合わせ積極的に加入促進に取り組んでいく。また、「医療・がん共済」に、本年度より「介護」が加わり、「医療・がん・介護共済」という共済制度でのスタートだったので、共済制度の内容とメリットを確実

『印刷業向け業務パッケージの決定版 P-MAN』

印刷情報管理システム



P-MAN Business e-Brain
Print Manager

見積・受注・制作予定・印刷予定・加工/配送予定
在庫・発注仕入・販売・原価システム

営業情報を正確に早く、制作・製造部門に伝えることで
生産性の向上、ミス・ロスの低減を行い利益向上を計ります。

『導入実績100社』 『今こそ!!情報の見える化(MIS)』

印刷CO2排出量算出見積積算機能が追加されました!

業務 ライン	見積管理	受注管理	作業指示	工程予定	実績管理	販売管理
	見積入力 見積書 面取計算	受注入力 受注球管理 履歴管理	制作指示書 作業指示書 変更連絡	制作予定表 印刷予定表 加工・配送 予定表	制作実績 印刷実績 加工・配送 実績	売上伝票 請求書 売掛残
管理 ライン	見積 プロセス 支援	発注管理	仕入管理	原価管理	在庫管理	
	Co2排出量 積算	用紙発注 資材発注 外注発注	仕入入力 支払残 買掛残	原価分析 支援	製品在庫 預り在庫	部門別 利益管理 支援
						売上分析 目標管理 支援

株式会社 モトヤ 〒542-0081 大阪市中央区南船場1-10-25 TEL.06-6261-1931
〒104-0032 東京都中央区八丁堀4-5-5 TEL.03-3523-8711

に伝え加入率をさらに上げていきたい。さらに、「ストレスチェック」の義務化など労働安全衛生などの環境が変わる中、メンタルヘルスサポートサービスを備えた「新医療保障プラン」や「経営者医療共済」などの加入推進も継続して取り組んでいく。

●CSR・ブランディング委員会事業(担当:荒川壮一副理事長・竹倉幹雄委員長)

設立2期目となるCSR・ブランディング委員会は、印刷産業のブランド・アイデンティティお客様と文化を共創するビジネス・コンシェルジュ、を、ステークホルダーに浸透させる活動に加え、CSRやマーケティングなど、組合員に有益となる情報の共有やセミナー開催を企画し、精力的に活動していく。ブランディングという視点で事業を考えると、「共感」されるかどうかが重要になる。本年度のテーマを「共感」とし活動に取り組んでいく。

①愛知県主催「中小企業経営者と学生との交流会」への参加、②名古屋市工芸高等学校で開催の「進路相談会」への参加、③愛知県印刷工業組合フェイスブックの運用、④地元クリエイターとコラボレーションの企画、⑤JPPS中間講習会の実施。

●経営革新委員会事業(担当:箕浦靖夫副理事長・渡辺達也委員長)

本年度もいつまで続くか不透明な中でも、会社を維持成長していくためには、DXの活用や売り上げを作るための営業手法、コロナで疲弊してしまった社員・役員のモチベーション維持、UPの手法など、今までとは異なる様々な知識や情報がより一層必要になってくる。先行き不透明な時代を生き抜くうえで、今後必要となる知識や情報を提供し、少しでも役に立てる企画を考え行なっていく。

①経営革新セミナーの開催、②企業見学会の実施、③アドビテクニカルセミナーの開催(全印工連にてリモート開催)。

■愛印協組・通常総会

細井体制3期目がスタート

学びを支えるメディアージュ愛知



愛知県印刷協同組合(細井俊男理事長、愛印協組)の令和4年度通常総会が5月20日、名古屋・伏見の名古屋観光ホテルにおいて、愛知県印刷工業組合通常総会に先立ち開催された。冒頭挨拶に立った細井理事長は、「リアルな総会は3年ぶりである。経済が

動くようになってきた。我々の今後の生き方は様変わりをしていく。半分は印刷以外で稼がないと未来がないのかと思うが、力強く生き残って行かないといけない。協同組合に関しては、テナント、駐車場も満杯で、あとは工業組合の下支えをして盛り上げていきたい」と述べた。

総会で上程された議案はいずれも承認された。

事業計画では、「①メディアージュ愛知の維持管理、②メディアージュ愛知を印刷業界の情報発信基地にする、③愛知県印刷工業組合の事業に協力し、第13回ポスターグランプリを共催する」の活動方針が決められた。

【新役員】(敬称略)

- 理事長:細井俊男
- 副理事長:鳥原久資、酒井良輔、田中賢二
- 理事:高井昭弘、木野瀬吉孝、岡田邦義、松岡祐司、岩瀬清、木村吉伸、中島章充、吉川正敏、猪飼重太郎、木下隆司
- 監事:中尾僚宏、鬼頭則夫、渡邊茂史

組合の状況に関する重要な事項 (総会資料より抜粋)

コロナ禍により組合員サービスの提供が引き続き制約される中、ウィズコロナ対応として定着したリモートセミナーを継続して学びの機会を提供するとともに、将来を見据えてDXの活用により業態変革を推し進め、更に業界のブランディング図り次世代を担う若い人たちに印刷の面白さを発信していくことが重要である。

240線から340線、FMスクリーンの高画質高精細印刷を標準稼働中!!
価格は175線と同額

データから印刷・製本・発送まで
自社一貫体制でお引き受けします

大日印刷株式会社

☎0564-62-8461(代)
FAX 0564-62-8463

大日印刷 検索

盛功社の創業は1889年。2018年に130周年を迎えました。
3世紀にわたるご愛顧をいしずえとして
新たな未来へ羽ばたきます。



- 印刷機械 ●製版機械 ●製本機械
- DTP関連機 ●印刷諸材料

株式会社 盛功社
〒461-0014 名古屋市東区榑木町3丁目17番地
TEL 052-932-5611 FAX 052-931-0280
http://seikosh-net.jp/

2050年カーボンニュートラルの実現に向けて

カーボンニュートラル社会への「印刷」の貢献

日本印刷産業連合会（日印産連）は、印刷業界として持続可能な社会の実現に貢献していくため、「2050年カーボンニュートラル宣言」を業界内外に公表し、実現に向け積極的に挑戦していく姿勢を示した。地球温暖化対策は、「全産業が取り組むべき喫緊の課題で、印刷業界においても従来の発想を転換するとともに、産業構造や業態を変革し、次なる成長に繋げるためにも、これまで培ってきた技術や知恵を結集し、脱炭素社会の実現を目指す必要がある」としている。

さらに、今回の宣言の背景について、「2015年のパリ協定の下、地球温暖化の要因である温室効果ガスの排出抑制が加速し、世界各国において脱炭素社会の実現に向けた取り組みが進められている。2020年10月に日本は『2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする』、すなわち『2050年カーボンニュートラル』の実現を目指す」と宣言しており、また、2021年4月には、2030年度の新たな温室効果ガス削減目標として、2013年度比46%削減することを目指し、さらに50%の高みに向けて挑戦を続けるとの新たな方針も示した。温暖化への対応を経済成長の制約やコストとする時代は終わり、国際的にも成長の機会と捉える時代に突入した」としている。

具体的な取り組み内容について、「2050年カーボンニュートラルの実現に向けて」より紹介してみる。

印刷業界「2050年カーボンニュートラル宣言」

わたしたちは、2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、「エネルギー起因の排出極小化」、「プロセス・構造の転換」、「印刷技術による地域社会づくり」に取り組み、持てる技術、知恵を結集し、積極的に挑戦していきます。

印刷業界の地球環境対策への取り組み

日印産連は、これまで様々な環境問題にいち早く対応してきた。1990年代には廃棄物処理法への対応、化学物質（VOCなど）の排出抑制の課題に取り組み、1997年に「京都議定書」が採択され、地球環境問題の高まりを受け、日印産連内に「環境委員会」を設置し積極的に環境対応を図る。2002年には印刷工場環境配慮度を評価・表彰する「印刷産業環境優良工場表彰制度」を設け、環境活動の普及促進を図り、2006年に

工場や印刷機資材の環境配慮を認証する印刷業界独自の「グリーンプリンティング（GP）認定制度」を構築・推進し、環境経営に積極的な印刷関連企業を推奨、環境に配慮した印刷製品の普及に努めてきた。2010年より経済産業省並びに経団連の「低炭素社会実行計画」に参加し、印刷業界のCO2排出量の把握や省エネ活動の成果を集約し公表してきた。

低炭素社会実行計画の取り組み実績

印刷産業は従業者100人未満の事業所が98%、3人以下が半数以上（53%）を占める小規模主体の業界であり、新たな設備投資が難しい経営環境の中、デジタル印刷機や高効率印刷機の導入促進、空調・動力関係の設備更新、乾燥工程の高効率化やUV光源のLED化など、積極的に省エネ活動に取り組み、効率的なエネルギー利用を図ってきた。その結果、2014年度に設定したCO2排出量の2020年度目標値を2018年度に達成できたため、2020年度及び2020年度目標値の見直しを行った。

2030年度CO2排出量及び削減率の目標

<2030年度目標値の設定根拠>

2030年度時点の自主行動計画参加企業の売上高3兆2000億円（2018年度実績）を前提とし、2018年度原油換算原単位17.9kl/億円を毎年前年より1%改善し、2030年度は、15.9kl/億円（2013年度比：▲26.5%）までの改善を目指し、CO2排出量は65.0万t-CO2（2013年度比：▲55.7%）を目標とする。

実現に向けての基本的な考え方・取り組み

印刷産業は長年培ってきた情報管理・加工の技術とノウハウを活かし、多様化・高度化する顧客ニーズに応えると同時に、革新的な技術の開発や実用化に挑戦して、環境に配慮した製品を生活者に提供してきた。今後は、カーボンニュートラルな社会を目指すために、次の2分野で施策を展開し、求められる新しい産業へ成長する。これにより印刷業界が地球温暖化対策に取り組む姿勢を明確にするとともに、2050年カーボンニュートラル社会の実現に積極的に貢献していく。

（1）事業活動におけるエネルギー起因の排出極小化

<施策概要>

従来から行なっている省エネ活動のさらなる促進及び革新的な省エネ設備の導入、設備の電化を拡大するとともに、再生可能エネルギーの導入促進、そして、DX活用によるモノづくりの効率化を展開していく。情報管理・加工の分野においては、モノづくりから「情報価値創造産業」への業態転換を図る。DX活用による印刷会社グループ間の生産調整を可能とする地域密着型の「ジョブシェアリング・プラットフォーム」の実用化と全国展開を推進し、プロセス・構造の転換による印刷業界全体の生産効率の向上、エネルギー使用量の極小化を目指す。

<具体的な施策>

①省エネ活動のさらなる推進＝エネルギーマネジメントシステム（EMS）の導入／高効率機器・省エネ機器の導入／LED-UVなど乾燥のための低エネルギー技術・機器の導入。

②再生可能エネルギー・新エネルギーの利用拡大＝電力調達における再生可能エネルギー由来の電力調達／太陽光発電設備の導入／熱エネルギー源としての水素・アンモニアなどの利用。

③プロセス・構造の転換によるエネルギー効率の最大化＝生産プロセスの転換と適正品質基準の確立により、印刷ロスを極小化／デジタル印刷機の導入やDXによるジョブシェアリング／ジョブシェアリングの広域展開によるプラントネットワーク構築／企画・広告・充填・流通などバリューチェーンへの拡大。

(2)カーボンニュートラル社会への印刷の貢献

<施策概要>

印刷で培ってきた情報管理・加工の技術とノウハウを活かし、多様化・高度化する顧客ニーズに応える新たな情報文化を創出する。また、包装・産業資材の分野においては、より低炭素で資源循環にも資する製品を開発・提供し、新たな生活文化の充実を図ることで、原材料調達・製造・流通・運搬・廃棄工程などサプライチェーン全体でCO2排出量の削減に取り組む。そして、低炭素な地域社会づくりに貢献するため、上流や下流、さらには隣接市場へバリューチェーンの拡大を推進することにより、カーボンニュートラルな社会形成に求められる新しい産業へ成長する。

<具体的な施策>

①新たな情報文化の創出＝情報伝達や販促活動のデジタル化推進・新サービスの開発による削減／生活者へのより低炭

デジタル技術の活用促進をアドバイス 愛知県デジタル技術活用相談窓口 相談料は無料

愛知県では、IoTやAI、産業用ロボットなどのデジタル技術活用促進を目的に「愛知県デジタル技術活用相談窓口」を設置。各分野に精通した専門家が課題相談やアドバイス、さらにマッチング支援、各種補助金の相談などを行なっている。具体的な相談でなくても、IoTやAIなどが業務の中でどのように活用できるかといった相談にも対応している。

- 場所：有限監査法人トーマツ名古屋事務所（名古屋市中村区名駅1-1-1 JPタワー名古屋37階）
- 内容：技術利活用における課題相談、現地での業務改善アドバイス、技術導入事業者とのマッチング支援、各種補助金の活用相談など。
- 相談料：無料。
- 相談方法：Web、Mail、TELで事前に申し込む。
- 問合せ先：有限監査法人トーマツ（事業受託事業者）Mail：digital-support-aichi@tohmatu.co.jp TEL052-565-5955

素な生活のための情報発信。

②新たな生活文化の創出＝より低炭素な環境配慮製品の開発によるライフサイクルでのCO2削減／リサイクル適性に優れた包装材などの開発・提供による資源循環への貢献／生活者・事業者が分別しやすい表示、ラベル、タグの開発・提供。

③低炭素な地域社会づくりに貢献＝産官学地域連帯の担い手として、低炭素な新しい街づくり推進／地域の再エネ、リサイクル活動などの情報のハブとしての役割／広域プラントネットワークを介した地域間の連携事業構築。

日産連では、「2050年までに温室効果ガス排出を実質ゼロとし、持続可能な地球環境を維持することは、全人類、全産業が積極的に取り組むべき喫緊の課題として、印刷産業における2050年カーボンニュートラル宣言を策定した。同宣言の達成には、現状の省エネ活動、再生可能エネルギーの導入、最新技術の応用やDXの展開に加え、今後の革新的な技術導入や他の産業、業界や地域社会との連携が必須である」とし、実現に向け積極的に挑戦して姿勢を示している。



「紙の匠」
meikami
メイカミ
〒461-0018名古屋市長区主税町4-83
名古屋紙商事株式会社
TEL:052-931-2221
FAX:052-932-1418



創造を超えるデザイン、
心に残る印刷。.....
デザイン～印刷まで
トータルサポート
お気軽にお問合せ下さい。
..... カラー印刷全般

株式会社 プロスペック
〒453-0855
名古屋市中村区烏森町6丁目108番地
TEL(052)482-3117(代表)
FAX(052)482-3118

info@ps-prospec.co.jp https://www.ps-prospec.co.jp/

日本印刷産業連合会

独禁法ガイドブック制作

「これだけは知っておきたい」 独占禁止法のポイント

今年3月に、一部の受注活動で独占禁止法に抵触し、印刷産業の社会的責任を問われる事態が発生した、とのニュースがありました。この事案に対し日本印刷産業連合会（日印産連）では、印刷産業の社会的地位とイメージを揺るがす事態が発生したとし、今後再発することがないように関係法令の理解徹底に努め、印刷業界の信頼回復に全力を尽くすとし、日印産連会員10団体に対し再発防止のための「要請書」を送付しました（本誌3月号の詳細）。

簡単に事案を紹介します。公正取引委員会が行なった今回の措置は、日本年金機構が発注するデータプリントサービスの入札などの参加業者に対し、独占禁止法第3条「不当な取引制限の禁止」の規定に違反する行為を行っていたとするものです。データプリントサービスとは、日本年金機構が、一般競争入札などの方法により発注する「ねんきん定期便の作成及び発送準備業務（直近1年間通知用）」などの22業務に係るサービス（発注者から発注者の顧客のデータを預かり、データの編集・加工・印字、封入・封緘、発送準備などを行なう業務）をいいます。違反行為を行なった事業者数は26社でこのうちの多くは10団体の会員企業になります。

日印産連では、「独占禁止法遵守に関する周知のお願い」として、再発防止の取り組みについて次の2点を挙げ、会員企業の理解と協力を要請しています。

①「コンプライアンス推進部会」の設置

2022年度より新たに「コンプライアンス推進部会」を設置し、「独占禁止法」並びに「下請け中小企業振興法」、「下請け代金支払遅延等防止法」などの周知及び理解促進のために、教育セミナーや研修など10団体会員企業への啓蒙活動を行なう。また、「独占禁止法」の理解度及び遵守状況を把握するた

「これだけは知っておきたい」 独占禁止法のポイント

め、年1回フォローアップ調査を実施し、その結果に基づき、再発防止策の見直し行なう。

②「独占禁止法」ガイドブックの発行

10団体会員企業の社員啓蒙テキストとして、冊子「これだけは知っておきたい 独占禁止法のポイント」を制作・発行し、会員10団体の全組合員に配布する。

■これだけは知っておきたい 独占禁止法のポイント

<内容>

(1) どのような法律か(独占禁止法の概要)

制定・基本的考え方/規約の概要/公正取引委員会のガイドライン/独占禁止法に基づく適用除外

(2) どのような行為が禁止されているか(具体的行動ガイド)
カルテル・談合/不公正な取引方法の例/事業者団体での活動で禁止されている行為

(3) 違反するとどうなるか(独占禁止法の適用)
行政措置/損害賠償(25条、24条)、刑事罰(89条～91条など)

※ ※ ※

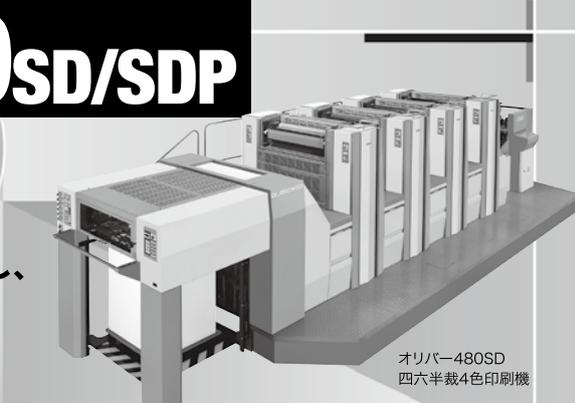
日印産連から発行されました「これだけは知っておきたい 独占禁止法のポイント」は、6月に組合から送付しました各種資料の中に同封していますので確認をしてください。



四六半裁 OLIVER 480SD/SDP

LED-UV搭載

究極まで追求した
最新テクノロジーを随所に採用し、
更なる高品質・高生産性を実現。



オリバー480SD
四六半裁4色印刷機

大好評! オリバーSD/SDPシリーズ 菊半裁・四六半裁・菊全判の3機種

最高の製品をお届けすることで、
お客様の満足をお約束します

Sakurai
株式会社 桜井クラフティクスシステムズ
<http://www.sakurai-gs.co.jp>

本社
〒135-0032 東京都江東区福住2-2-9
TEL.(03)3643-1131(代) FAX.(03)3643-1138

中部営業所
〒501-3733 岐阜県美濃市3951
TEL.(0575)35-2551(代) FAX.(0575)35-2881

大阪営業所
〒532-0012 大阪府淀川区木川東3-1-31
TEL.(06)6308-6651(代) FAX.(06)6308-6679

九州営業所
〒810-0001 福岡中央区天神5-5-8
TEL.(092)741-2672(代) FAX.(092)741-2670

岐阜工場
〒501-3733 岐阜県美濃市3951
TEL.(0575)33-1260(代) FAX.(0575)33-3146



「環境推進工場登録」の案内

—持続可能な会社と社会を実現するために—



環境推進工場登録マーク

■環境推進工場登録とは

全日本印刷工業組合連合会は、持続可能な会社と社会を実現するために、「環境推進工場登録」を推奨している。この「環境推進工場登録」制度は、印刷物製造工程における環境負荷低減への取り組みを50項目に分類し、70%以上かつ必須項目を満たした工場を「環境推進工場」として登録し、環境負荷の少ない製品の使用やリサイクルの推進、また、産業廃棄物の適正な処理など、印刷会社の総合的な環境対応を支援する制度で、2012年から制度運用を開始している。2021年には環境省「環境ラベルデータベース」にも登録され、環境マネジメントシステムとしてさらに認知度が上がった。

小規模企業や印刷工場を持たない企業でも取得することができ、社員の環境教育やGP認定およびISO14001へのステップとしても利用できる。

■環境マネジメントシステムに取り組み必要性

昨今、SDGs(Sustainable Development Goals)という国際目標が提唱されている。人間の活動が地球環境や生態系に大きな影響を与え地球環境が破壊されてきたためである。企業は社会において良き企業市民として周囲の環境と共生していかなければならない。

SDGsはヨーロッパを中心とする諸外国や国内でも大手企業を中心に取り組みが進んでいる。すでに取り組みを始めている企業の中には、環境問題に取り組んでいない企業への発注は行わないと表明している企業もある。日本政府においても2050年までにカーボンニュートラムを達成するということを法律に明記している。このように環境問題への取り組みが待たなしの状況になっている。また、企業規模の大小や工場の有無にかかわらず、事業活動を行なっている限り必ず環境関連法令は適用され、適切に対応していなければ法令違反となり罰則が科せられる。

自社と社会の持続的な成長を実現するためにも、環境関連法令に対応し、コンプライアンス違反にならないためにも、今すぐ環境マネジメントシステムに取り組み必要がある。

■環境推進工場登録取得のメリット

登録取得のメリットとしては次のことがある。

①小規模企業や工場の有無にかかわらず、安価な費用で印刷業として必要な環境対策の仕組みを構築できる。

②環境へ配慮していることを社内外にアピールでき、受注や採用の増加が見込める。

③環境負荷を低減する活動と同時に、省資源・省エネルギーを達成でき、コスト削減につなげることができる。

④社員への環境教育に止まらず、マネジメントシステムを運用することで時代の経営幹部を育てることができる。

■環境推進工場登録要件

①都道府県印刷工業組合に加入している組合員であること。

②申請は事業所単位で行なう。

③複数事業所からの申請も可能。ただし、それぞれ受講・登録費用が発生する。

■環境推進工場登録取得方法

Step①申し込み⇒所属工組事務局に相談。

Step②新規講習会の受講⇒【講習内容】制度概要・環境マネジメントシステムの説明／修了試験(択一式)の実施、修了書の授与／申請書類の作成。

Step③申請書類の提出⇒講習会受講から約40日後までに環境推進工場登録事務局まで申請書類を提出。

Step④審査⇒提出された申請書類を登録委員会で審査。不足資料があっても後日再審査が可能。

Step⑤認定⇒審査を通過した工場は全日本印刷工業組合連合会より登録書が発行される。有効期限は2年間。登録継続には2年ごとの更新手続きが必要。

■認定に係る費用

①講習会受講料：講習会主催工組に確認、②テキスト代：3,300円(税込み)／名(最大2名、事業所まで参加可能)、③登録申請料：22,000円(税込み)／事業所。

■問い合わせ先

東京都印刷工業組合環境推進工場登録事務局

〒104-0041 東京都中央区新富1-16-8日本印刷会館
4F TEL03-3552-4021 FAX03-3553-2653



修了証



登録証



第13回ポスターグランプリ作品募集 作品テーマ：「カタチ」

募集期間：8月22日～9月3日

愛知・岐阜・三重・石川・富山各印刷工業組合及び愛知県印刷協同組合が主催する第13回ポスターグランプリコンペティションは、8月22日から作品を募集する。

【作品規定】

- 対象：ポスター

■今月の本箱



環境省：熱中症対策

「熱中症環境保健マニュアル」

2022年3月に改訂。環境省が作成し公表している保健活動に関わる人向けの保健指導マニュアル。「熱中症とは何か」、「熱中症を防ぐために」、「保健指導のあり方」などについて紹介している。

「夏期のイベントにおける熱中症対策ガイドライン」

イベントの主催者や施設の管理者向けの熱中症予防ガイドライン。暑い時期に開催されるイベントで熱中症患者の発生をできる限り防ぐための参考となるデータや対策などがまとめられている。上記マニュアル

●テーマ：「カタチ」 幅広いジャンル、豊かな発想と斬新な表現のポスター（キャッチコピーを含む作品）を募集

●応募期間：2022年8月22日（月）～9月3日（土）12時必着

●応募資格：愛知県、岐阜県、三重県、石川県、富山県在住、または同5県内の会社、大学（大学院、短期大学を含む）、専門学校、高等学校（高等専門学校を含む）に在籍している個人。

●応募部門：一般の部（プロ・アマ不問）、大学生・専門学校生の部、高校生の部。

●応募作品：未発表の作品、1人1点、印刷可能なものに限る。電磁媒体（CG）又は手描きによるもの、色彩表現は自由。

●サイズ：〈一般の部〉B1判、縦型、発泡パネル貼仕立て、〈大学生・専門学校生の部〉B1判、縦型、発泡パネル貼仕立て、〈高校生の部〉B2判、縦型、発泡パネル貼仕立て（※発泡パネルの厚さは15mm以内。作品が剥がれないように貼り付けて提出）。

●出品料：無料。

詳細については、愛印工組ホームページを参照 <https://www.ai-in-ko.or.jp/>

と併用しての活用を奨めている。

「まちなかの暑さ対策ガイドライン」

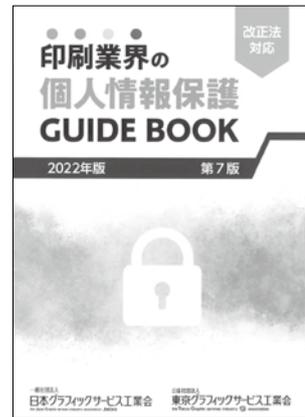
人が感じる暑さについて科学的な情報を分かりやすく伝えるとともに、効果的な暑さ対策の実施方法についてその考えを示し、関連する技術情報なども紹介している。

いずれも、環境省「熱中症予防情報サイト」からダウンロードができる。

日本グラフィックサービス工業会

2022年版「印刷業界の個人情報保護ガイドブック」第7版

日本グラフィックサービス工業会、東京グラフィックサービス工業会から、2022年版「印刷業界の個人情報保護ガイドブック」第7版が発行された。



このガイドブックは、令和2年10月に発行した「印刷業界の個人情報保護ガイドブック」（第6版増補版）をベースに今回の法改正の概要を付加し、プライバシーマーク付与に関わる審査基準に沿った内容となっている。第1章では令和2、3年に公布された改正個人情報保護法の概要、第2章は改定したJaGraガイドラインの解説、第3章の安全管理措置は前版を踏襲した。

また、エピソードとして昨今の時宜に照らし、「①最近のサイバー攻撃の状況を踏まえた注意喚起、②テレワークなどへの今後継続的な取り組みに際しての留意事項（参考：緊急事態宣言解除後のセキュリティチェック）、③サイバーセキュリティのための人材確保・育成、④事例にみるクラウドサービスやテレワーク環境での個人情報漏洩に関する注意喚起」などを掲載している。

○体裁：A4判 88ページ（本文2色）

○頒価：1,800円（消費税送料込み）

○申し込み：日本グラフィックサービス工業会 TEL03-3667-2271

編集だより

■暑中お見舞い申し上げます。入梅がすぎ本格的な暑さが来ます。熱中症やコロナには万全な対策を心掛けてください。

あいちの印刷

No.608

令和4年7月10日発行

発行人 鳥原久資
編集 組織・共済委員会
発行所 愛知県印刷工業組合
〒461-0001 名古屋市東区泉一丁目20番12号
メディアージュ愛知1階
TEL (052) 962-5771
FAX (052) 951-0569

◆ホームページアドレス <http://www.ai-in-ko.or.jp/>
◆E-mailアドレス jimukyoku@ai-in-ko.or.jp

美しさ・誠実・挑戦

お客様に企画、デザインを通し、
真の感動を提供出来る様、
常に進化し続ける企業を目指します。

- グラフィックデザイン Graphic design
- ウェブデザイン Web design
- セールスプロモーションデザイン Sales promotion design
- エディトリアルデザイン Editorial design
- アドバタイジングデザイン Advertising design
- オンデマンドプリンティング On-demand printing

adWISE

株式会社 アドワイズ

〒451-0031 名古屋市西区城西3丁目21-12 サンシャイン浄心南601

TEL 052-528-1070 FAX 052-528-1071 E-mail: ad-wise@ad-wise.biz http://www.ad-wise.biz/



多言語に対応した
デジタルブックを簡単に作成
手軽に配信・快適に閲覧



MORISAWAは、日本障がい者スポーツ協会を応援しています

多言語ユニバーサル情報配信ツール

MC Catalog+

EMシー カタログ プラス

あらゆる紙媒体をデジタル化し、
スマートフォンやタブレット端末に
手軽に配信するサービスです。

詳しくは

www.morisawa.co.jp

●記載されている会社名・商品はそれぞれ各社の登録商標または商標です。
●本仕様は、予告なく変更する場合があります。

Axuas

印刷用紙は、紙営業本部 TEL (052)220-5511
紙のプロフェッショナルとして
「最適」をご提案いたします。



パッケージは、包材営業部 TEL (052)220-5507
皆様の「包む」を
サポートいたします。



LED 照明は、開発事業部 TEL (052)220-5518
地球に優しい
「LED照明」を中心に省エネ化の
お手伝いをいたします。



株式会社 アクアス

〒460-0008 名古屋市中区栄一丁目25番35号 <http://www.axuas.jp>

heart

人から人へ心を伝える ハート紙製品



グリーン購入法適合封筒・環境配慮型製品
名刺・封筒・はがき・カード・賞状・カレンダー

デザイン作成・企画提案から印刷・納品までトータルにサポート
官公庁・企業様、ユーザー様など幅広くご利用いただいております

ハート株式会社

URL : www.heart-group.co.jp



10530027(04) FSC® C015685

ISO 14001

ISO 9001

キングは 印刷会社の パートナー

詳しくは



株式会社キングコーポレーション

本社 / 〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内3丁目7番23号 TEL 052-961-7661 (代)

全国15拠点を
サポート

本社 / 名古屋本店 / 東京支店 / 大阪支店 / 福岡支店 / 仙台支店 / 横浜支店 / 静岡支店 / 金沢支店 / 神戸支店 / 広島支店 / 鹿児島支店 / 札幌営業所 / 青森営業所 / 浜松営業所



ロマンと効率 輝く企業へ

KOBUNDO

PRODUCTS

フィニッシングソリューション KBD MOLLシステム

FOLDER/GLUER/INSERTING/TAPING

KBD MOLLシステムは、製袋機、グルーシステム、紙折機の機能を統合して、パッケージ等の型紙を自動で製造するユニットシステムです。



デジタル制御高精度シートカッター KBD Value Sheeter I400

KBDバリューシーター1400は、最新の先端技術を採用し、高速で安定した断裁を可能にするシートカッターです。



オートフィードダイカッター

KBD Diginukky500

デジタル印刷のフィニッシングに
最適な新設計のダイカッター登場!



オフィスのPOD横に設置が可能です。100V電源で稼働できるので設置場所を選びません。イーजीオペレーションでオフィス内での運用が可能になります。



印刷機材の総合商社

株式会社 光文堂

本社 / 〒460-0022 名古屋市中区金山二丁目15番18号 TEL 052(331)4111(代)
支社 / 東京 支店 / 東北・静岡・大阪・金沢・北九州・福岡 営業所 / 北海道・青森
山形・千葉・山梨・沼津・浜松・岐阜・福井・富山・京都・山口・大分・熊本・沖縄